

朝日新聞はどここの国の新聞だ？

JJ1SXA/池

またまた、朝日新聞は、とんでもないことをやった、4月7日の朝刊1面、集団的自衛権行使を容認するか否かについての、アンケートの数字、「行使容認反対 63%」「集団的自衛権 昨年より増加」の見出しの記事。

朝日新聞は集団的自衛権行使容認反対はわかっているが、前記数字は、何と国内では無く、中国人と韓国人に面接方式で尋ねた結果のもので、何故中国と韓国にまで出かけて行って尋ねなければいけないのだ？

集団的自衛権行使を容認するか否かは日本が決めれば良いことだ、行使容認を日本が急ぐのは、中国の軍事的脅威の高まりゆえだ。

朝鮮半島有事に際しても、集団的自衛権が行使できなければ、日本の安全に深く関わる韓国への支援も十分にはできない、それにも拘わらず、朝日は選りに選って中国の意見を聞きに行った。

日米安保体制を機能させるのに集団的自衛権の行使容認は不可欠で、安保体制の最大の対象が中国である、その中国に集団的自衛権行使容認についてお伺いを立てるとは何事だ。

新聞社として集団的自衛権行使に反対なのであれば、堂々と社説を掲げ、それがいかに政策的な合理性をもっているかを記事で解説するという紙面作りをすべきだ。

以前にも、自分たちの責任において主張を展開するならともかく、自分たちに都合のいいことを言う内閣法制局長官経験者、山本庸幸氏や阪田雅裕氏に、反対意見を代弁させて記事にしていたが、彼らは国家、国民がどうなろうと関係なく、自分たちが積み重ねてきた憲法解釈を守りたいだけの「官僚中の官僚」だ、そういう人種だ、憲法解釈変更は反対するのは当たり前だ。

それでも、彼らは日本国民だが、今回は違う、日本の大新聞として、あまりにも常軌を失している、「どここの国の新聞だ？」と言わざるを得ない。

日本ABC協会の2013年7月～12月の朝刊販売部数(概数)を見ると、読売新聞970万部、朝日新聞750万部、毎日新聞330万部、日本経済新聞260万部、産経新聞160万部となっている、こんなとんでもない朝日新聞が750万部も読まれている、変な方向に洗脳される国民が多いであろうことに驚く、逆に言うと、それだけ読者を抱える朝日の罪は大きい。

慰安婦問題も、南京虐殺問題も朝日のとんでもない記事が発端、マッチ・ポンプもいい加減にしろと言いたい。

「天声人語」が良くて朝日新聞を読むと言う人がいるが、その「天声人語」も最近は、社の方針に沿った政治的意見が多過ぎる、格調高い「天声人語」は何処かへ行ってしまった気がする。

(20.Apr,2014 記)